

予 算 要 求 資 料

令和3年度3月補正予算

支出科目 款：農林水産業費 項：畜産業費 目：畜産振興費

事業名 畜舎省力化施設整備事業費補助金(R4分)

(この事業に対するご質問・ご意見はこちらにお寄せください)

農政部 畜産振興課 畜産基盤係 電話番号：058-272-1111(内2878)

E-mail： c11437@pref.gifu.lg.jp

1 事業費 55,199 千円 (現計予算額：0 千円)

<財源内訳>

区 分	事業費	財 源 内 訳							
		国 庫 支出金	分担金 負担金	使用料 手数料	財 産 収 入	寄附金	その他	県 債	一 般 財 源
現 計 予算額	0	0	0	0	0	0	0	0	0
補 正 要求額	55,199	0	0	0	0	0	0	0	55,199
決定額									

2 要 求 内 容

(1) 要求の趣旨(現状と課題)

近年、本県畜産業の経営規模は拡大傾向にあることから、畜舎等の施設整備に対して支援を行ってきている。一方で、規模拡大には労働力の確保が必須となるが、担い手不足は深刻であり、さらに新型コロナウイルス感染症が拡大している中においては、労働者間の接触を減らすことが重要であることから、少人数で効率よく経営する体制づくりが急務である。

省力化技術を活用により、少人数でも大規模な経営運営が可能となることから、省力化技術と一体化した施設整備に対し、支援を行う。

(2) 事業内容

作業の省力化あるいは効率化を図るための設備と一体的な施設整備及び機器・機械等の導入に要する経費の一部について助成する。

(3) 県負担・補助率の考え方

- 施設整備 : 1 / 4 以内 (和牛繁殖牛関係施設等は 1 / 3 以内)
- 機器機械導入 : 1 / 4 以内
- アパート牛舎整備 : 1 / 2 以内

(4) 類似事業の有無

無

3 事業費の積算 内訳

事業内容	金額	事業内容の詳細
補助金	55,199	省力化・効率化を図るための施設整備・機械導入等 例： ・飼養管理の省力化（畜舎と自動給餌器・餌寄せロボット等の一体整備による給餌作業の削減，畜舎と搾乳ロボットの一体整備による搾乳作業時間の短縮及び体力的負担の軽減） ・除糞作業の省力化（畜舎と除糞装置の一体整備による作業負荷の削減） ・繁殖管理の省力化・効率化（畜舎整備に伴い増加した頭数への発情発見・分娩監視装置等の装着または哺乳ロボットの設置による労働力の軽減と子牛生産性の向上） ・生態管理の省力化（畜舎整備に伴い増加した頭数への行動監視装置等の装着や体重自動計測機の設置による管理作業の軽減） ・生産物データの自動一元化（畜舎と搾乳データ管理システムの一体整備による生乳分析を活用した畜産物の品質向上） ・飼養環境管理の効率化（畜舎と環境モニタリングシステムの一体整備による環境把握の可視化を活かした暑熱・換気対策及び畜産物の品質向上） ・畜舎監視の効率化（畜舎と監視カメラ類の一体整備による家畜盗難・防犯対策）
合計	55,199	

決定額の考え方

4 参考事項

（1）各種計画での位置づけ

- ・「清流の国ぎふ」創生総合戦略（2019-2023年度） II-3-(3)-②
- ・「ぎふ農業・農村基本計画」（2021-2025年度）第6章(13)酪農
- ・岐阜県スマート農業推進計画（2019-2023年度）
- ・岐阜県家畜改良増殖計画（2020年度） I 乳用牛， II 肉用牛

（2）後年度の財政負担

なし

（3）事業主体及びその妥当性

農業協同組合連合会、農業協同組合、公社、農業者が組織する団体 等

県単独補助金事業評価調書

新規要求事業

継続要求事業

(事業内容)

補助事業名	畜舎省力化施設整備事業費補助金
補助事業者（団体）	農業協同組合連合会、（一社）岐阜県農畜産公社、農業協同組合、農事組合法人、農業者等の組織する団体 等 (理由) 小規模畜産農家を事業の対象とするため。
補助事業の概要	(目的) 作業の省力化を推進し、少人数での大規模経営を支援する。 (内容) スマート農業技術を導入して、作業の省力化あるいは効率化を図るための一体的な施設整備及び機器・機械等に要する経費の一部について助成する。
補助率・補助単価等	定額・ 定率 ・その他（例：人件費相当額） (内容) ・施設整備 1/4以内（一部1/3以内） ・機器機械導入 1/4以内 ・アパート牛舎整備 1/2以内 (理由) ・「施設整備」は類似事業と同率の1/4以内 (和牛繁殖牛関係施設、飼料用稲関係施設については1/3以内) ・「機器機械導入」は類似事業と同率の1/4以内 ・「アパート牛舎整備」は新規就農者の初期投資軽減のための貸出用の施設整備を含むことから1/2以内
補助効果	畜産の生産現場にスマート農業施設・機器等が普及し、労働力不足の解消が進み、畜産業の魅力が向上する。
終期の設定	終期 令和4年度 新型コロナ対策の国交付金を活用するものであるため。

(事業目標)

<p>・終期までに何をどのような状態にしたいのか 作業の省力化あるいは効率化による少人数での経営規模の維持拡大、家畜の生態観察時間の確保による畜産物の品質向上。</p>
--

(目標の達成度を示す指標と実績)

指標名	事業開始前	R2年度	R3年度	R4年度	終期目標	達成率
	R元年度末	実績	目標	目標	R4年度末	
①スマート機器の導入農家戸数	30	0	36	39	39	77%

補助金交付実績 (単位：千円)	H30年度	R元年度	R2年度
	-	-	-

(これまでの取組内容と成果)

令和2年度	<ul style="list-style-type: none"> 取組内容と成果を記載してください。
	指標① 目標：____ 実績：____ 達成率：____ %
令和3年度	令和5年度当初予算にて追加
	指標① 目標：____ 実績：____ 達成率：____ %
令和4年度	令和6年度当初予算にて追加
	指標① 目標：____ 実績：____ 達成率：____ %

(事業の評価)

<ul style="list-style-type: none"> 事業の必要性(社会情勢等を踏まえ、前年度などに比べ判断) 3：増加している 2：横ばい 1：減少している 0：ほとんどない 	
(評価) 3	畜産農家の担い手不足が続く中、省力化により少人数で作業可能な体系に転換していくことは、1戸あたり飼養頭数の維持拡大につながり、本県畜産業の下支えとなるため、事業の必要性が高い。
<ul style="list-style-type: none"> 事業の有効性(指標等の状況から見て事業の成果はあがっているか) 3：期待以上の成果あり(単年度目標100%達成かつ他に特筆できる要素あり) 2：期待どおりの成果あり(単年度目標100%達成) 1：期待どおりの成果が得られていない(単年度目標50~100%) 0：ほとんど成果が得られていない(単年度目標50%未満) 	
(評価) 2	畜舎の生産基盤整備と作業省力化あるいは効率化に伴う設備及び機械導入により、労働時間の短縮や作業効率が改善されている。
<ul style="list-style-type: none"> 事業の効率性(事業の実施方法の効率化は図られているか) 2：上がっている 1：横ばい 0：下がっている 	
(評価) 2	市町村等との連携を密にして、事業を円滑かつ効率的に進めているほか、事業後のフォローに努めることとしている。

(今後の課題)

<ul style="list-style-type: none"> 事業が直面する課題や改善が必要な事項 新型コロナウイルス収束が見込めない中、個人農家、あるいは家族経営による中小規模の畜産農家が多いため、三密を避けるべく少ない人数で効率よく作業ができる施設設備及び機械導入の支援が必要である。

(次年度の方向性)

<ul style="list-style-type: none"> 継続すべき事業か。県民ニーズ、事業の評価、今後の課題を踏まえて、今後どのように取り組むのか
